

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【公開番号】特開 2011-144533 (P2011-144533A)

【公開日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2011-030

【出願番号】特願 2010-4798 (P2010-4798)

【国際特許分類】

E 0 4 H 1/12 (2006.01)

【F I】

E 0 4 H 1/12 3 0 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 1】

図 1 1 に示す喫煙ブース A 1 は、4 つの曲面仕切りユニット 1、平面仕切りユニット 2、および出入口ユニット 3 を互いに縦枠部材 4 を介して連結したものである。この喫煙ブース A 1 には、曲面板 1 0 の凹面 1 0 A が隔離空間 C 1 の内側に配置された曲面仕切りユニット 1 とその外側に配置された曲面仕切りユニット 1 とがあり、これらの間に 1 つの平面仕切りユニット 2 が連結されている。一方の壁 B 3 には、曲面仕切りユニット 1 の側端部が近接するように配置されている。このような喫煙ブース A 1 によれば、隔離空間 C 1 のスペースをより大きく確保することができる。さらに、喫煙ブース A 1 では、より多くの曲面仕切りユニット 1 を用い、曲面板 1 0 の凹面 1 0 A を隔離空間 C 1 の内側および外側のいずれにも配置可能であるため、バリエーションやデザイン性についてより富んだ喫煙スペースを作ることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

図 1 2 に示す喫煙ブース A 2 は、4 つの曲面仕切りユニット 1、2 つの平面仕切りユニット 2、および出入口ユニット 3 を互いに縦枠部材 4 を介して連結したものである。この喫煙ブース A 2 は、図 1 1 に示す喫煙ブース A 1 における一端側の曲面仕切りユニット 1 に対し、さらに縦枠部材 4 を介して平面仕切りユニット 2 を連結し、その平面仕切りユニット 2 の側端部を一方の壁 B 3 に近接するように配置したものである。このような喫煙ブース A 2 によっても、隔離空間 C 2 のスペースをより大きく確保することができ、曲面板 1 0 の凹面 1 0 A を隔離空間 C 2 の内側および外側のいずれにも配置可能であるため、バリエーションやデザイン性についてより富んだ喫煙スペースを作ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

図 1 3 に示す喫煙ブース A 3 は、3つの曲面仕切りユニット 1、2つの平面仕切りユニット 2、および出入口ユニット 3 を互いに縦枠部材 4 を介して連結したものである。3つの曲面仕切りユニット 1 は、曲面板 1 0 の凹面 1 0 A を全て隔離空間 C 3 の内側に配置するように縦枠部材 4 を介して連結されており、その両端の曲面仕切りユニット 1 から壁 B 3 までの間に 2 つの平面仕切りユニット 2 および出入口ユニット 3 が連結されている。このような喫煙ブース A 3 によれば、一方向に臨む壁 B 3 に隣接して十分な大きさの隔離空間 C 3 を形成することができる。また、3つの曲面仕切りユニット 1 が連結されると、それらの曲面板 1 0 によって中心角が 1 8 0 度となる半円状の曲面が形成されるので、より柔らかい印象の隔離空間 C 3 を形成することができる。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 5 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 5 4 】

図 1 4 に示す喫煙ブース A 4 は、6つの曲面仕切りユニット 1、2つの平面仕切りユニット 2、および出入口ユニット 3 を互いに縦枠部材 4 を介して連結したものである。この喫煙ブース A 4 は、曲面板 1 0 の凹面 1 0 A を全て隔離空間 C 4 の内側に配置した曲面仕切りユニット 1 を 3 つずつ連結したものを含んでおり、両端の曲面仕切りユニット 1 の間に 2 つの平面仕切りユニット 2 および出入口ユニット 3 を連結したものである。このような喫煙ブース A 4 によれば、壁を利用せずとも十分な広さを有し、楕円状でより柔らかい印象の隔離空間 C 4 を形成することができる。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

